

第48号
【年3回発行】
日置地区
社会教育振興会
(事務局)
鹿児島教育
事務所

新型コロナ感染者が増加!
地区社会教育振興会総会
今年も書面議決



5月7日、日置地区社会教育振興会理事会を開催し、5月25日の総会に向けて準備を進めてきました。その後、本県で新型コロナウイルスの感染が急速に拡大してきたため、理事会メンバーで再度対応を協議しました。そして最終的に会長(田畑誠一市長)の判断を仰ぎ、総会は昨年引き続き書面議決とすることになりました。

社会教育関係団体や、学校、福祉等の会員31名に「書面表決書」を送付し、6月7日までに回答をいただきました。その結果、令和2年度事業報告や決算、令和3年度事業計画案、予算案、新役員等の全ての議案が全員一致の賛成で可決されました。

◎「いもこじ」の発行(8・12・3月)
今年度、第50号記念号発行
連携による推進力、組織力の向上へ

月	日	曜	行 事 名
6	11	金	鹿児島地区社会教育委員及び社会教育担当者等研修会(兼 鹿児島地区人権教育ブロック別指導者研修会)【延期】
	22	火	日置地区地域女性団体連絡協議会研修会【中止】
7	3	土	日置地区PTA正副会長等研修会<日置市>
	7	水	鹿児島地域文化財保護審議会委員及び文化財行政担当者等研修会(鹿児島市)【中止】
8	24	火	日置地区ふるさとを興す保健・福祉学習大会及び組織・教育・食料・環境学習大会<日置市>
10	15	金	日置地区公民館経営研究会<いちき串木野市>
11	17	水	日置地区文化財担当者等研修会<未定>
12	4	土	県PTA活動研究委嘱公開<いちき串木野市>
2	5	土	日置地区生涯学習推進大会<いちき串木野市>

令和3年度
社会教育関係行事計画

令和3年度新役員 (敬称略)

会 長 田畑 誠一 (いちき串木野市長)

副会長 新留 克郎 (鹿児島教育事務所長)

副会長 中木屋 豊 (地区社会教育委員 連絡協議会長)

監 事 黒木 隆之 (いちき串木野市 PTA連絡協議会長)

監 事 相良 一洋 (いちき串木野市教育長)

監 事 下脇 徹 (伊作小学校長)

コロナに負けるな!
子ども会活動を支援します

5月7日、地区子ども会育成連絡議会の総会が開催されました。本会は子ども会組織の拡充並びにその活動を促進し、子どもの健全育成を図ることを目的としています。総会では令和2年度事業報告や決算、令和3年度事業計画案、予算案、新役員等の全ての議案が可決されました。

令和3年度子ども会役員 (敬称略)

会 長 松尾 四男 (日置市)

副会長 松下 良照 (いちき串木野市)

副会長 長濱 義人 (三島村)

監 事 藤崎 秀雄 (いちき串木野市)

監 事 下野 照男 (日置市)

★中央ブロックJ・L及び高校生クラブ等交流大会(種子島)【期日未定】

★地区子ども会大会、指導者・育成者研修会【日置市11月27日】等

日和下駄
冠岳賛歌
十島村教育委員会
教育長 有村 孝一

♪千古くしふる冠の…その名もゆかし冠小♪

令和3年3月31日、この校歌の冠岳小学校は閉校し、142年の歴史に幕を下ろしました。昭和53年私はこの学校に教員2校目として赴任しました。霊峰冠岳の山懐にあり、門には大きなソテツ、石堀の間の石の階段から見上げるそのたたずまいには圧倒されました。眼前の大平山を貫き新幹線が開通するらしいという話から34年目ついに実現しました。初任校3年間は、無我夢中でした。教師としての道筋が、この学校ではつきりとしてきました。毅然とした校長に学び、思慮深い教頭の指導を受け、25歳の若僧を温かく見守っていただいた同僚、保護者や地域の方々、「国語を語る会」の先輩など、様々な方に示唆をいただき、あるべき教師像を目指しました。「泣こかい飛ぼかい、泣こよつかひつ飛べ」の精神で、何でも挑戦した冠岳小時代のことは、今でも感謝しています。それから35年後無事に退職することができました。校歌の3番は、熱き血潮に幸やあれで終わります。ありがとう「冠岳小」

いつもとは違う東市来地域学生会
日置市教育委員会

東市来地域学生会は、東市来町出身の高校生274人で構成されています。学生会は、地域の活性化に寄与し立派な社会人になることを目的としており、結成から今年で44年目を迎えました。

例年は地域運動会において、地域を盛り上げるために応援活動を行っています。昨年度はコロナ禍の影響で地域運動会が中止となり、学生・保護者の方々にとって、応援団活動はとても思い出に残る活動であり、応援団活動が実施できないのは非常に残念でした。

地域の清掃活動に汗

そこで、応援団活動の代わりに行事として、2月11日に駅や地域の清掃活動を学生会と保護者と共に行いました。参加した学生は、久しぶりに会う友達や同じ高校の友達と地域貢献活動を通じて楽しく交流することができました。

最近では、コロナ禍により十分な活動ができませんが、今後も地域貢献や学生の健全育成に努めていきたいと思っています。



湯之元駅の清掃

「フードドライブ」でみんなが笑顔に



伊集院地域女性連絡協議会

伊集院地域女性連絡協議会では、地域に根差した社会貢献活動を日々実践しています。

5年前からは、食品ロス削減運動の一環として、「フードドライブ」を始めました。

日本では、毎年1、700万tの食品が廃棄され、その中には手つかずの食品が22%も含まれていると言われています。しかも、その内の4分の1は賞味期限内の食品です。まだ食べられるのに、色々な理由で処分されてしまう食品を、「食事」に困っている人や団体に届ける活動が、「フードドライブ」です。

※「ドライブ」とは「寄付」という意味

家庭や企業で余った「食品」を捨てるのは「もったいない」という気持ちから皆さんに広げたいという思いから始まりました。家庭で余った食品や、使わない食品を有効に活用するため、伊集院地域各種女性団体連合会（12団体）にも呼びかけて、「フードドライブ」の取組が広がりました。

みんなを笑顔にする「フードドライブ」

年3回、代表者会で呼びかけをし、随時収集をしています。女性大会の開催では、会員それぞれが米や缶詰などの食品を手にとって参加し、たくさんの方が集まります。集まった

た食品は福祉課や子ども支援センターなど行政機関と連携して、食品を必要とする人たちに届けられています。

子ども食堂

また、4年前からは日置市中央公民館で、「伊集院子どもふれ愛食堂」も実施しています。現在はコロナ禍のため、第2日曜日の11時半からの実施でお弁当を配布・販売しています。

女性連も食材の提供や広報活動、イベントの手伝い等を行っています。お弁当は、子どもは無料（高校生まで）、大人は300円です。お弁当と一緒に、子ども食堂に寄付や提供のあった野菜や麺類、お菓子なども配っています。受け取った子どもさんたちには大変喜んでいただき、その笑顔に救われた思いがします。



「女性大会」で集まったフードドライブの食品

まだまだ広報が足りていないことも実感していますので、さらに活動を広げ、私たちの取組でも笑顔になれる人が増えてくれることを信じて、「フードドライブ」の普及に努めていきたいと思っています。

オンラインで枕崎のPTAと交流
三島片泊学園PTA

一月三十日（土）、三島片泊学園PTAは枕崎市の桜山中学校・別府小学校PTAとオンラインで活動の活性化に向けた意見交換を行いました。



交流の様子

片泊と枕崎市は、明治二十八年に、台風で遭難した枕崎の漁民を黒島の住民が救助し、犠牲者を弔った「黒島流れ」が縁で、交流が始まりました。

これまでの学校における交流は、三島村の小中学生が修学旅行で枕崎市の学校を、枕崎市の小中学生が「枕崎少年の船」事業で黒島を訪問するなど、子どもたちの交流が中心でした。今回初めて、PTAの交流が企画され、お互いの活動の紹介や課題に対する意見交換を行いました。

会員数が少なく、また地理的に他のPTAと交流する機会があまりない片泊学園PTAにとっては、オンラインを活用し交流することで、自分たちの活動を振り返ったり、課題解決のヒントを得たりするなど大変有意義な機会となりました。参加したPTA会員は、今回得た情報を今後の活動に生かし、更に充実させたいと気持ちを新たにしました。

誰もが安心して暮らせる元氣あふれる 地域社会に向けてがんばっています 生活学校

いちき串木野市では、安全で安心して心豊かに暮らせる地域社会を築くために、二つの**生活学校（市来生活学校・串木野生活学校）**が活動しています。

共に、少人数と高齢化の状況ではありませんが、会員一体となって頑張っています。新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、最近実践できていないものも含めて生活学校の主な活動を紹介します。

環境浄化活動に取り組む生活学校

生活学校では、環境浄化活動の環境として、EM菌ボカシを作り、生ゴミの堆肥化に努めています。その堆肥を使った土でできた野菜は、おいしいとボカシ利用の輪が広がっています。また、市来生活学校では、羽根田水産のボランティア協力を得て、EM活性液を毎月2回河川に投入する活動を進めています。さらに、市ジュニア・リーダークラブと一緒にEM団子を作り、同じ河川に投入する交流活動も行っています。「河川がきれいになった」、「臭いが無くなった」



EM 団子作り



EM 団子を投げ入れる

「マイバッグ持参運動」に取り組み生活学校

マイバッグ持参運動に取り組む生活学校

もう一つの活動として、レジ袋を減らす「マイバッグ持参運動」に力を入れてきました。今では、マイバッグ持参が当たり前のようになっています。意識が定着し、さらにマイバッグ持参が増えるよう、マイバッグ出口調査などの活動を実施していきます。12月には、社会福祉協議会やスポーツ少年団と一緒に歳末助け合い街頭募金活動に協力しています。市民の皆さんの温かい心遣いに感謝しながら一年を締め括ります。

このように、少しでも市民の皆さんのお役に立てるよう頑張っています。が、新しい会員が増えないことが一番の悩みです。私たちの活動に理解を深め、一緒に活動して下さる方をお待ちしています。

ノルディック・ウォークで 健康寿命をのばそう！

市生涯学習講座の一つ「ノルディックウォークキング講座」は令和元年

度に開講し3年目を迎えています。NPO法人鹿児島県ノルディック・ウォーク連盟で、県内外でこの普及に尽力してこられた中澤誠吉氏と西園靖彦氏を講師に迎え、今年度も年間9回の講座を開催します。

講座は、まず市屋内運動場に集合し、ポールを使い準備運動で始まり、ドーム内を歩行練習した後、野外に出て、ウォーキングを楽しんでいます。野外のウォーキングは、その日に



ポールを両手に持って歩く

よってルートや距離を変え、大里川河口や神社、市の文化財である川口番所跡・御飯屋跡・孝子徳右衛門の墓等をウォーキングしながら史跡巡りもできて受講生の見識を広げるきっかけとなっています。

受講者からはウォーキングを通して、姿勢改善につながっているとの声も聞かれます。コロナ禍で外出自粛が続く中、特に高齢者の筋力低下が懸念される中、この講座がフレイル予防に少しでも役立って欲しいと願っています。

※フレイル：加齢により心身の老い衰えた状態

今後は、紅葉の時期に冠岳や、薩摩藩英国留学生記念館周辺をウォーキングできることを、皆さん楽しみにしています。

十五夜「ナイトウォーク」 宝島子ども会（十島村）

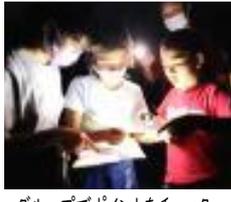
毎年、「十五夜相撲」を伝統行事として行っていますが、昨年は、残念ながらコロナ禍により、中止になりました。また、楽しみにしていた子ども会行事の「子ども会夏祭り」も中止になりました。

そこで、子ども会で「コロナ対策を講じた上で、何か楽しい催しができないか」と、色々なアイデアを出し合っており、十五夜お月様のもと、「ナイトウォーク」を開催することになりました。親子・里親単位で各地点に潜んでいる様々な「ミッション」をクリアしていくという内容です。当日は絵に描いたような美しい満月、子どもたちは各チェックポイントで、カメラやペンライトを使った映像のミッション、花火やクイズ等、保護者考案のオリジナルゲームがあふれるユニークなミッションを次々にクリアしていききました。

ミッション：花火を楽しむ



子どもたちのために大人の方々が工夫を凝らした「十五夜ナイトウォーク」、宝島を照らす満月が子どもたちを優しく見守ってくれました。



グループでポイントをチェック

日置地区PTA正副会長等研修会 やる気を引き出す言葉かけ ~ペップトーク

PTA活動の活性化及び青少年の健全育成に資することを目的に7月3日(土)、日置市中央公民館において、本研修会が行われました。新型コロナウイルス感染症防止のため、人数を制限して実施し、地区内の各学校のPTA正副会長等や教職員計80名の参加となりました。

日本ペップトーク普及協会認定講師の川添まり子先生に「子どものやる気を引き出す言葉かけ。ペップトークを活用することです」と題して講演をしていただきました。川添先生は本県で保健体育教師として23年間勤務されたことがあります。



講師の川添先生

「ペップトーク」とは、もともとアメリカで監督やコーチが競技前に選手に向けて行った激励のメッセージだそうです。先生は「やる気のメカニズム」を心理学でひも解き、相手を励まし、勇気づける言葉かけ「ペップトーク」と、相手の気付きや考える力を引き出す

「ワクワクを広げる良質な質問」を活用して、子どものやる気を引き出し、前向きに生きていこうとする態度を育むポイントについて、具体例を示しながら分かりやすくお話してくださいました。



講演の様子

- ❖ とても心に響く講演でした。子どもたちに要求ばかりしてしまっている反省しました。ドリームサポーターになれるようにしたいです。
- ❖ 言葉というものがすごく大事だと分かりました。もっとポジティブに考え、子どもへの声掛けを変えてみようと思います。
- ❖ 自分の子育てで、当たることが多くて、今後の子育てに生かしているヒントをたくさんもらった気がします。【出席者感想より】

親の役割、子育てのあり方などについて多くの示唆を与えてくださいました。今後のPTA活動にも生かしていただければと思います。

文化財マップを作成しています 「日置地区の文化財」「鹿児島郡地区の文化財」

令和3年度
鹿児島郡地区文化財
国・県指定文化財

鹿児島教育事務所

令和3年度
日置地区文化財マップ
国・県指定文化財

日置地区社会教育振興会

本教育事務所では、地区内の文化財についての理解と関心を深めるとともに、郷土学習、伝統行事等への参加や史跡調べでの活用のため、小学校3年生を対象に「文化財マップ」(A3の両面印刷3つ折り)を毎年、作成・配布しています。

「日置地区の文化財」は日置市といちき串木野市の26の国・県指定等の文化財を、「鹿児島郡地区の文化財」は三島村と十島村の15の国・県指定等の文化財を取り上げています。なお、本「文化財マップ」は鹿児島県(鹿児島教育事務所)のホームページ上にも公開しています。

コロナ禍の影響で**延期・中止**になった行事
鹿児島郡地域文化財保護審議会委員及び文化行政担当者等研修会【中止】
地区社会教育委員及び社会教育担当者等研修会【延期】
地区地域女性団体連絡協議会研修会【中止】

書面開催になった行事
日置地区社会教育振興会総会

編集後記

苦中有楽(くちゆうらくあり) どんな苦しい中にも楽しみは見出せるものです。ワクチン接種の普及により、ようやく希望が見えてきた気がします。とはいえ、まだまだ気を緩めることはできません。さて、今年度も社会教育関係の情報を発信していきます。よろしくお祈りします。(事務局 田中)

